

一戸町における世界遺産登録推進事業実績及び予定について

1. 平成 28 年度の主な事業内容

(1) 世界遺産登録推進事業

①「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産登録へ向けた対応協議

- ・縄文遺跡群世界遺産登録推進会議（9月23日、3月6日）
- ・縄文遺跡群世界遺産登録推進担当者会議（8月3日、10月28日）
- ・縄文遺跡群世界遺産登録推進専門家委員会（12月14日）
- ・海外専門家との意見交換（8月23・24日 ※御所野遺跡視察 8月23日）
- ・推薦書素案改訂作業（作業ワーキング参加）

②環境整備事業

- ・クリーンデー（地域住民による公園の一斉清掃）の実施（4月23日、11月12日）
- ・復元竪穴建物の修理
- ・縄文里山づくり事業の推進
- ・『御所野遺跡環境整備事業報告書Ⅲ—総括報告書—』刊行

③調査研究の推進

- ・御所野遺跡指導委員会（専門家による検討・指導など、5月15日、2月21日）
- ・「縄文時代のアスファルト利用」をテーマとしたシンポジウム開催（10月29・30日）
- ・大学や他博物館との共同研究、実験（黒曜石産地推定分析、クリの再生実験など）

④教育・普及啓発事業

- ・縄文まつり（いわて国体一戸町炬火採火式との同時開催）の開催（5月3日）
- ・夏休み子ども体験（全4回・のべ85名参加）
- ・「いちのへ御所野縄文文学」事業推進委員会の開催（全3回）
- ・御所野愛護少年団による活動（公園清掃、御所野遺跡のPR活動）

※7月29日 ジュニア平泉文化歴訪団と御所野愛護少年団・一戸中学校1学年との交流

- ・出前講座（いちのへ文化・芸術NPOへ委託実施）
- ・平成28年度調査成果発表会（2月26日 179名参加）
- ・調査成果発表会関連パネル展開催（2月26日～ ）
- ・発掘調査の総括報告書の一般向けパンフレット
「御所野遺跡探究パンフレット 自然とともに生きた縄文人」の作成・配布
- ・御所野遺跡ボランティア連絡協議会の活動
- ・御所野遺跡世界遺産登録推進協議会の活動（世界遺産講演会 7月2日）
- ・まちづくり事業研修会、報告会（3月4日）

(2) 景観関係事業

- ①一戸町景観計画による届出の受理、指導
- ②遺跡周辺の国道ガードレール修景対策工事
- ③既存建物の景観への配慮対応
 - ・バッファゾーン内の民家屋根の色調改善への経費補助

(3) 情報発信・観光関係事業

- ①IGR 一戸駅の改修工事完了
- ②バス車両等へのラッピング広告の実施
- ③ホームページや広報、FM放送を利用した情報発信
- ④外国人観光客の受け入れ態勢整備（外国語版パンフレットの配布）
- ⑤イベントでの地場産品などと連携した PR 活動
 - ・「いわて銀河プラザ」での一戸町物産展における観光 PR

2. 平成 29 年度の主な事業予定

(1) 世界遺産登録推進事業

- ①「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産登録へ向けた対応協議
- ②環境整備事業
 - ・クリーンデーの実施（4月22日、11月11日）
 - ・縄文里山づくり事業の推進
- ③調査研究の推進
 - ・御所野遺跡指導委員会
 - ・大学、他機関、アスファルト研究会などとの共同研究、実験
- ④教育・普及啓発事業
 - ・「いちのへ御所野縄文学」の理念策定
 - ・小・中学生による「子どもガイド」の継続実施とガイド養成
 - ・二戸地域振興センター（県）と連携した体験交流プログラム（カシオペア体験交流くらぶ）の実施
 - ・夏休み子ども体験（7～8月、全4回）、出前講座の実施
 - ・動画を利用した遺跡の案内パンフレットを新規に作成
 - ・御所野遺跡ボランティア連絡協議会の活動
 - ・御所野遺跡世界遺産登録推進協議会の活動

(2) 景観関係事業

- ・前年度とほぼ同様
- ・火葬場、建設会社の資材置き場の撤去などの緩衝地帯における景観改善

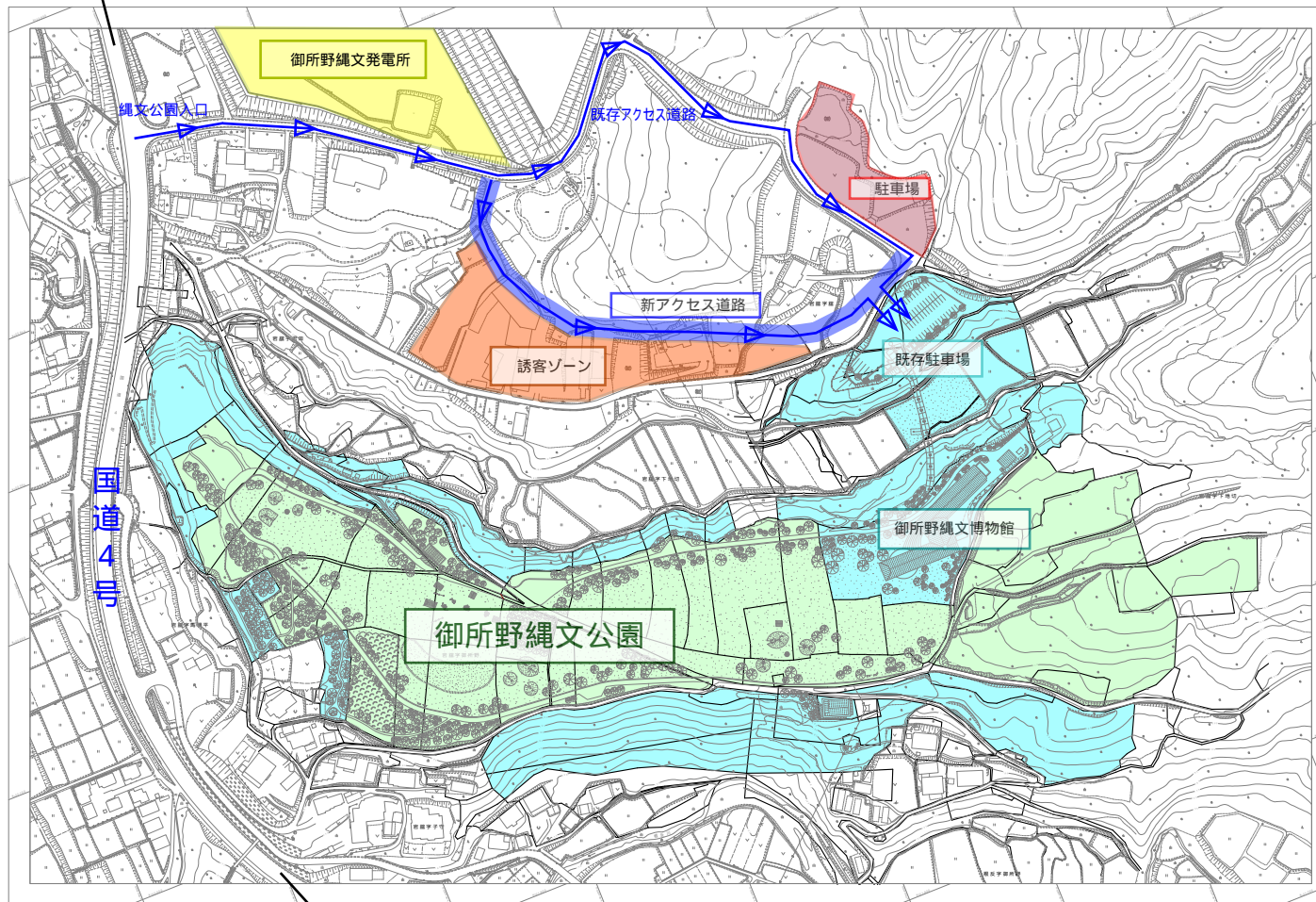
(3) 情報発信・観光関係事業

- ①御所野縄文公園周辺エリアの開発プランニング着手（別紙資料）。
駅からの誘導路も合わせて検討。
- ②二戸広域での来訪者受け入れ体制の検討や組織の立ち上げ

御所野縄文公園周辺整備構想

八戸自動車道
一戸IC
(二戸市方面)

遷移指定地
官地(一戸町)



(盛岡市方面)

誘客ゾーン

御所野遺跡の活用に繋がらない火葬場や建設資材置き場を撤去し、道の駅機能(レストランや物販施設、駐車場)を整備して観光客の利便性を高める。

御所野縄文発電所

木質バイオマス発電所。身の回りの物を上手に利用する縄文文化の思想を継承する施設として、御所野縄文公園と合わせて見学者を誘導する。

新アクセス道路

来場者の増加に対応するため、道路を新設し混雑の緩和を図る。

駐車場

観光バスや自家用車の増加に対応するため、駐車場を追加整備する。